

ペーパーレスニュース

発行No. PL-098
発行日 2007年9月25日

発行者: 日本知的財産協会
知的財産情報システム委員会

テーマ 引用非特許文献の提供と 電子出願ソフトのバージョンアップ

1. 引用非特許文献の提供

10月1日以降に起案される拒絶理由通知書などの引例に非特許文献が含まれる場合、その非特許文献が発送書類として提供されることになりました。これらの非特許文献は、拒絶理由通知書などの通知書類と同時に、「引用非特許文献」という書類名で発送されることとなります。以下に注意点を挙げます。

- 1) 引用非特許文献は、拒絶理由通知書などの通知書類と共に発送され、発送順は、通知書類 引用非特許文献の順になります。
- 2) 1通の通知書類に、2通以上の引用非特許文献がつく場合があります。
- 3) 引用非特許文献がオンライン発送可能なデータ容量である20MBを超えた場合は、紙発送となりますが、その場合は通知書類も合わせて紙発送となります。従って、2通以上の引用非特許文献がつく場合、1通のみが容量を超えた場合でも、通知書類とすべての引用非特許文献が紙発送となります。
- 4) 引用非特許文献の提供は、特許と実用新案のみで、対象となる書類は、「拒絶査定」、「拒絶理由通知書」、「補正の却下の決定」、「審尋(審判官)」となります。

詳細は、特許庁HP「電子出願ソフトサポートサイト」(<http://www.pcinfo.jpo.go.jp/>)でご確認ください。

[注意事項] 今回の対応は著作権法の改正に伴い、特許庁からの提供が可能となったものですが、詳しい説明が特許庁のホームページに掲載されています。また、これらの書類の取り扱いについての注意点もQ&A集にまとめられていますので、必ず、ご確認下さい。

http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/tetuzuki/t_tokkyo/shinsa/inyouhitokkyobunnkenn.htm

2. 電子出願ソフトのバージョンアップ

平成19年10月版が9月30日にリリースされます。新しいソフトのバージョンは以下の通りです。

インターネット出願ソフト ... Ver. i1.40 パソコン出願ソフト3 ... Ver. 03.42

前述の引用非特許文献への対応に加えて、いくつかの機能が提供されます。その概要のみ、以下に紹介します。詳細については、特許庁HP「電子出願ソフトサポートサイト」でご確認ください。

- 1) Windows Vista 対応 (インターネット出願ソフトのみで、パソコン出願ソフトは対応しません。)
- 2) 外国語書面出願で使用するPDFの形式として、従来の「Acrobat3.0(PDF1.2)」以外に「Acrobat4.0(PDF1.3)」「Acrobat5.0(PDF1.4)」も利用可能になります。Acrobat8.0では「Acrobat3.0(PDF1.2)」の作成ができませんでしたが、今後はAcrobat8.0でのPDF作成が可能になります。
- 3) 特許/実用の優先権証明書(E1841、E2841)に「アメリカ合衆国」が記載されていた場合は警告が出るようになります。これは、日本国特許庁と米国特許商標庁の間で優先権書類の電子交換が合意され、平成19年7月より優先権証明書の提出が免除されるようになったことへ対応です。
- 4) XML/SGML系書類の表示/印刷/HTML変換のレイアウト基準が一部変更になります。これにより、改ページ位置などが従来と変わる場合があります。
- 5) 発送書類受け取り時の特許/実用/意匠/商標の「要求種別」指定がWindowsログインユーザ別に保存できるようになります。なお、アップグレード後の初回通信時は、すべてが指定された状態になりますので必要に応じて再設定が必要になります。
- 6) WindowsXPをお使いの場合、JIS2004フォントをインストールすると、表示/印刷時に一部の文字で字体が変わる問題が発生しますので注意が必要です。詳しくは特許庁HPで確認して下さい。

3. 今後のバージョンアップ予定

- (1) 商業登記証明書の更新対応パッチ提供(10月上旬)
- (2) 平成20年1月版リリース(2008/1/1) : Linux/Mac 対応(i1.50)
- (3) 平成20年4月版リリース(2008/4/1) : 証明書ストア PC 限定モードの機能追加(i1.51)

以上

[第1小委員会担当: 見上・杉山・上野・太田・佐川]